



すべてに ^{やさ}優^{しく}

いつまでも ^{ゆとり}悠^{ある}

やすらぎの ^{ばしょ}邑^を実現します



2024
新年 ^号

「今日も楽しかった」と
言っていただけのように…

2024年

新年の

ごあいさつ



社会福祉法人 杉和会

特別養護老人ホーム 優・悠・邑和合

理事長・総合施設長 若山 宏

新年を迎え心新たにご挨拶申し上げます。昨年5月8日に新型コロナウイルス感染症が2類から5類に変わったとは言え、高齢者の生活を守り守る者としては厳しい状況が続いており、尚且つウクライナ情勢に端を発した物価高騰には解決の糸口が見えず、物価高に対応出来る賃金アップを政府は事ある毎に広報していますが介護保険制度及び措置制度の施設においては公定価格で決められる状況があります。今年4月の介護報酬改正は介護・医療・障害のトリプル改定であり、財務省は「お金がない」の一点張りの中ではありますが、特養の令和4年度の収支状況等調査において60%の赤字である結果の中、高齢者のセイフティネットとしての役割を国民の皆様さんに理解していただく展開をしていかねばと考えています。勿論、その様な状況であっても当法人の「今日一日楽しかったよ」を職員の頑張り地域の方々のご理解で遂行してまいりますので今年も昨年同様のご支援とご協力を宜しくお願いいたします。

特別養護老人ホーム 優・悠・邑

施設長 水野 貴子

新たな年を迎え皆様方には心新たにお過ごしのことと思います。昨年8月から本部施設「優・悠・邑」施設長に就任させて頂き早や5か月が経過して、「施設長として、これで良いのか」との葛藤の日々では御座いますが、入居者さん利用者さんの笑顔を引き出す為に職員とのコミュニケーションを大切にしながらの展開を心掛けています。入居者さん、利用者さんとその家族、並びに地域の方々にとっての安心とやすらぎを醸し出す施設である様にとの思いで今年も頑張つて行きますので、昨年同様宜しくお願い致します。さて介護事業を取り巻く環境は人材不足と物価高騰の荒波の中ではありますが、その打開策の為に少子高齢化の中であっても介護事業は欠かせないものだと理解を得られるための活動が肝要だと考えております。厳しい状況ではありますが、より良い人材を確保して育成する事に重点を置きながら頑張つて行きますので昨年と変わらぬご支援ご協力をお願い致します。



盲養護老人ホーム 優・悠・邑 (なごみ)

施設長 吉澤 進治

新年を迎え皆様方にお祝いの言葉を申し上げます。旧年は当法人、盲養護老人ホーム優・悠・邑和(なごみ)に對しまして、温かいご協力ご支援を賜り誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスが5類となり、利用者との話し合いの中で少しずつ生活の行動範囲を緩和しております。しかし、感染症対策は職員全員が共通認識のもと継続しており、新型コロナウイルスとの共存生活の中で、どう楽しんでいくのかを計画し実施してまいります。利用者に対して、職員に対して、地域に対して「いまなにをすべきか」を常に念頭におき、全員で話し合いながらよりよい施設作りを進めてまいります。

また、新型コロナウイルスから急激に進んだデジタル化を活用し、職員のスキルアップ、利用者への支援の充実、生活の向上、また岐阜県唯一の施設として情報発信を行ってまいります。本年もどうぞよろしくお願い致します。



特別養護老人ホーム 優・悠・邑

副施設長 五次 隆之

謹んで初春のお慶びを申し上げます。

今、介護以外の職業でも人材不足が言われています。労働力の奪い合いになるような時に、介護人材を確保することは難しいことかもしれません。当施設も最近では、外国人介護人材が増えました。日本人の職員と同じように、毎日頑張っています。

職員の業務負担の軽減のために、介護ロボットやインターネットなどを利用する「ICT」の導入が進められ、当施設もその対応を始めています。最初は戸惑いがあるかも知れませんが、負担軽減が進むことを期待しています。

職員の処遇については、「介護職員等処遇改善加算」によって賃金の改善を行っています。事務的な処理が改正ごとに複雑になってきました。この内容が今年度、事務負担を軽減することも含めて見直されることになっており、期待しています。

今年度は、介護報酬改定の年度です。このような問題を抱える介護業界で働く職員と、利用いただいている方たちにとって、納得できる改定になることを期待しています。



特別養護老人ホーム 優・悠・邑

副施設長 吉田 篤

謹んで新春をお祝い申し上げます。

昨年8月に当施設の副施設長を拝命し、このような大役を任せて頂くこととなり、最初の新春にあたりご挨拶をさせていただきます。

私の役割として、施設に入所や利用される方々の最初の顔合わせをさせて頂き、今までの生活や介護が必要となつてからのお話を聞き、施設での生活に繋げる事が大きな役割となつてまいります。また、安定した稼働率を確保することも、皆様の生活が豊かになるようにするのも大切な役割だと思っております。

杉和会に入り、22年が経過しようとしておりますが、職員をはじめ、今まで関わらせて頂いた入居者や利用者の皆様はもちろんの事、ご家族や地域の方に教えられ、励まされ、時には厳しい言葉も頂き、成長させて頂きました。

年末で46歳となり今まで頂いたものを少しでもお返しするとともに、今までと同じように皆様に育てて頂くといい謙虚な気持ちを忘れず、日々是精進していききたいと思っております。



特別養護老人ホーム 優・悠・邑 和合

副施設長 伊藤 良明

明けましておめでとうございます。

旧年中はひとかたならぬご愛顧にあずかり、誠にありがとうございました。

本年はデジタル技術の著しい進展に対応していくため施設にデジタル環境を整備していくこととなります。投入した機器に職員ができるだけ早く順応できるように、施設内でデジタルに特化したPDCAを構築し効果的、効率的な取り組みにしつつ、その経過の中で各職種、職種間で活発な意見を交えながら業務全体も見直していくこととなります。デジタル環境の整備、女性活躍など新しい取り組みを通して職員がいきいきと働ける環境を一層推進しつつ、入居者については新型コロナウイルス禍で充実させた活動の経験を踏まえ、生活水準をコロナ前以上にすることを目指し、職員一同誠心誠意努める所存でございます。なにとぞ本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

